



## 製品概要

Rhino 7は、Windows、Mac上で動作するNURBSによる3次元モデリングツールです。Rhino 7は、滑らかなNURBSカーブやサーフェスを利用することにより、アイデア・イメージを損なうことなく、直感的に表現力豊かな3次元モデルを具現化することができます。またRhino 7は、精度上の制約条件がありません。建築、航空機といった分野から医療機器といった精密機器分野までご利用いただけます。更にRhino 7のもう一つの特徴として豊富なデータフォーマットサポートがあります。DXF、DWGはもちろん、IGESやSTEPフォーマットもサポートしており、Rhino 7を通してクライアントの持つ様々なCADとのデータ交換が可能です。

## SubD



有機的な形状を素早く探索する必要があるデザイナーにとって、SubDは、編集可能で高精度な形状を作成できる新しいジオメトリタイプです。他のジオメトリタイプとは異なり、SubDは迅速な編集とフリーフォームの精度を兼ねています。高精度で有機的な形状のモデリングがさらに簡単になりました。押しやり（プッシュ）引いたり（プル）の操作でリアルタイムで複雑なフリーフォームの形状を探索することができます。SubDオブジェクトは高精度で、製造可能なソリッドに直接変換できます。スキャンデータまたはメッシュデータをSubDオブジェクトに変換し、そこからNURBSに変換することもできます。

## 表示



Rhino 7のディスプレイライブラリは高速で、GPU依存シェーダーやメモリの最適化など新しいグラフィックスハードウェアで見られる機能を使用します。これにより、大きなモデルを扱っている場合でもGPU特有の表示問題が少なくなり、より安定した、美しい表現を実現。

## QuadRemesh



既存のサーフェス、ソリッド、メッシュ、またはSubDから素早く四角メッシュを作成します。レンダリング、アニメーション、CFD、FEA、リバースエンジニアリングに最適です。

## ドキュメンテーション



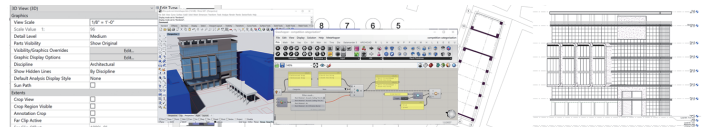
モデリングはデザインプロセスの単なる一部であり、モデルをどのようにして作成するのかを示すことも必要です。Rhino 7では、ドキュメンテーションのワークフローに多くの改良を加えました。透明やグラデーションのハッチングのようにグラフィカルな機能を強化したイラストレーションツールの搭載も行いました。

## 開発プラットフォーム



Rhino 7では、APIの改良、ドキュメンテーションの改善、そしてジオメトリ開発のプラットフォームの基盤を広げる新たな機能など、無償のSDKに大幅な改良を加えました。

## Rhino.Inside.Revit



Rhino.Inside.Revitは、RhinoとGrasshopperの力をAutodesk Revit®の環境に統合します。Rhino.Insideは、Rhinoを他の64ビットWindowsアプリケーションに埋め込むことを可能にする新しいテクノロジーです。Rhino.Inside.RevitはRhinoとRevitを前例のないレベルで統合するためのプラットフォームを提供します。Rhino.Inside.Revitは他のRevitのアドオンと同様に、Rhinoとそのプラグイン（Grasshopperなど）をRevitのメモリにロードするアドオンです。Grasshopperは、Revitと対話するための新しいコンポーネントのコレクションと共に、スクリプトコンポーネントを使用した2つのソフトウェアのAPIへのアクセスを提供します。

## プレゼンテーション



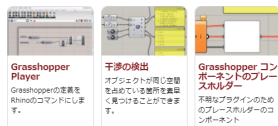
Rhino 7では、Rhinoのレンダリングエンジンを大幅にアップデートしてワークフローを合理化することでプレゼンテーションツールを改良しました。それにより、レイトレーシングポートで得られる外観を変更をまったく行う必要なくレンダリングできるようになりました。また、PBRマテリアルのサポート、LayerBookコマンドなどを追加しました。

## Rhinoをより便利に



Rhino 7では、数多くのバグを修正しました。また、名前付いた選択セット、金型作成ツール、刻印用のシングルラインフォントなどのワークフローの改善、サードパーティのファイル形式との相互運用性の向上なども行いました。

## Grasshopper



ここ最近、Grasshopperをいろいろな場所でお使いいただいているケースを見かけます。(他のアプリケーションでもお馴染みのキャンパスを見かけるかもしれませんが)。Rhino 7では、いくつかの新しいコンポーネントを追加しました。また、プログラムをプラグインにするのを簡単にすることを可能にしました。

## 動作環境

- Windows
  - ハードウェア
    - ・ 64ビットのIntelまたはAMDプロセッサ (ARMはサポートしていません。)
    - ・ 8GBのメモリ (RAM) またはそれ以上を推奨
    - ・ 600MBのディスク空き容量
    - ・ OpenGL 4.1対応のグラフィックスボードを推奨
    - ・ 4GBビデオRAMまたはそれ以上を推奨
    - ・ スクロールホイールのある複数ボタンマウスを推奨
  - 対応OS
    - ・ Windows 11、10または8.1 (いずれも64ビットのみ)
    - ・ Windows VDI (Virtual Desktop Infrastructure)
- Mac
  - ハードウェア
    - ・ Intel MacまたはApple Silicon Mac
    - ・ 8GBのメモリ (RAM) またはそれ以上を推奨
    - ・ Intel MacにはAMDのグラフィックスプロセッサを推奨
    - ・ 5GBのディスク空き容量
    - ・ スクロールホイールのある複数ボタンマウスを推奨
  - 対応OS
    - ・ macOS 13 (Ventura), 12.4 (Monterey), 11.6 (Big Sur), 10.15.7 (Catalina), 10.14.6 (Mojave)

〈開発元〉

Robert McNeel & Associates

〈日本総販売元〉

株式会社アプリクラフト  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-13-8 山野代々木ビル4F  
TEL 03-6825-8431 FAX 03-6825-8432  
製品に関する技術的お問合せ TEL 03-6825-9910  
https://www.applcraft.com

AppliCraft

◎製品のお買い求め先は